

2 Smile Teacher (教員調査から)

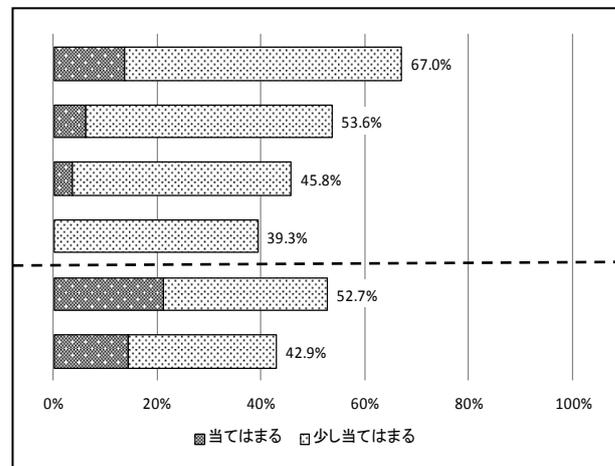
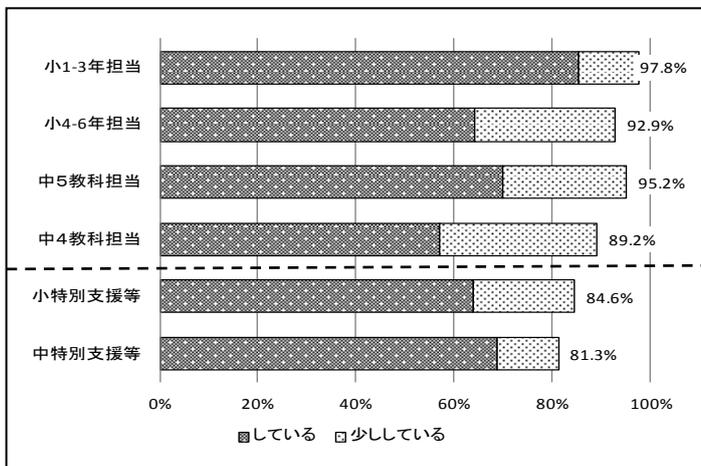
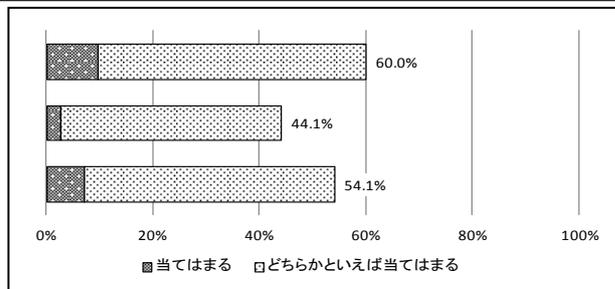
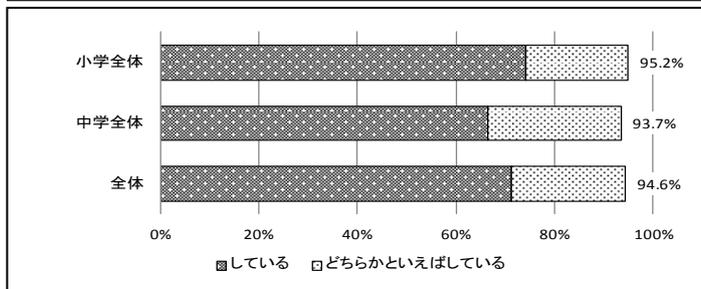
(1) 1【学習形態】、2【学習状況の好悪】

※特別支援等は、個に応じた支援が予想されるため全体の数値には含めていない。

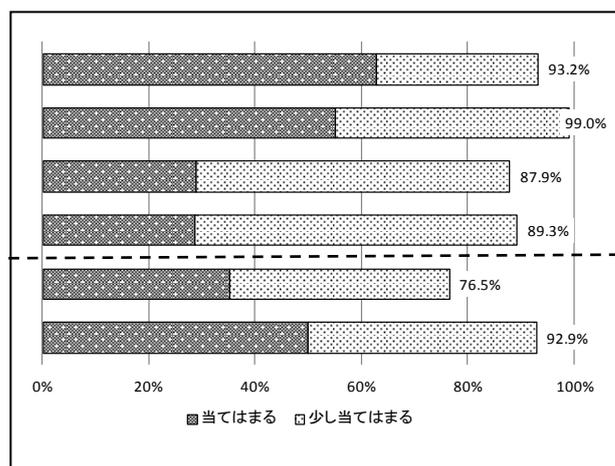
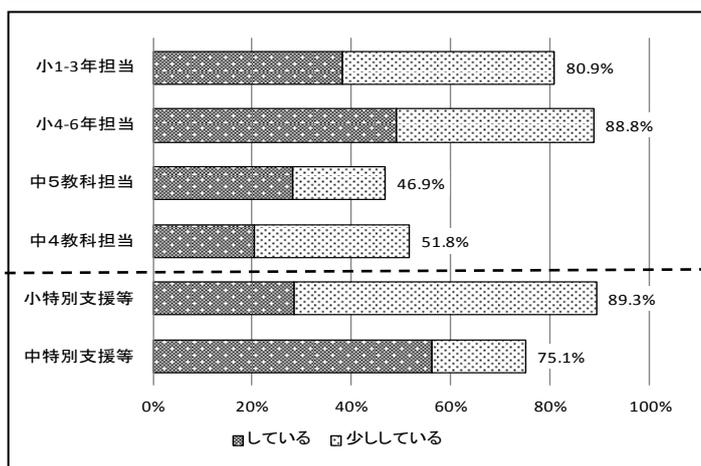
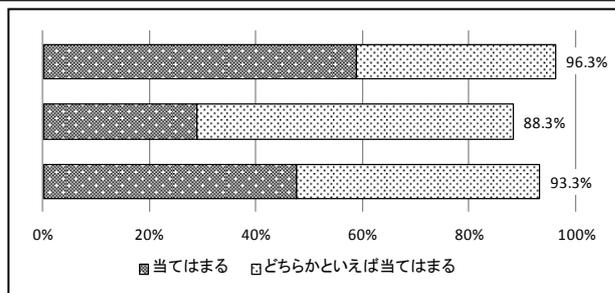
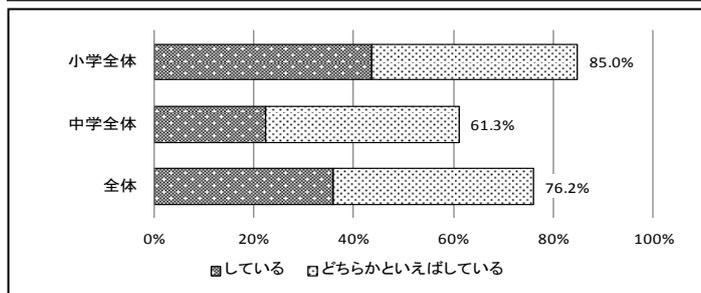
1授業では、児童・生徒に次のことをどのくらいさせていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。
【学習形態】

2児童・生徒は、次のような授業のやり方を好きだと思いますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。【学習状態の好悪】

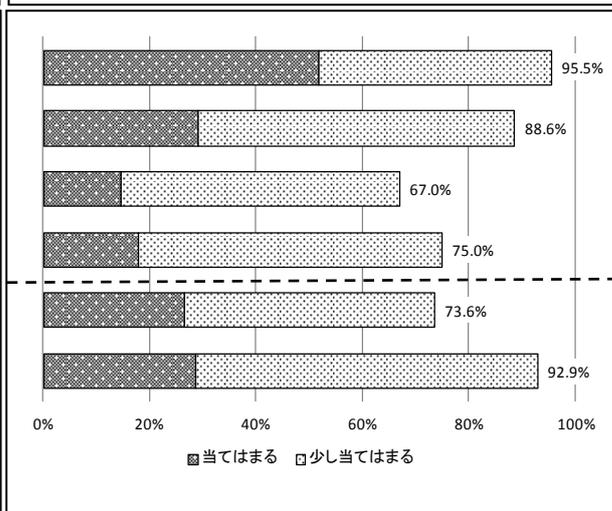
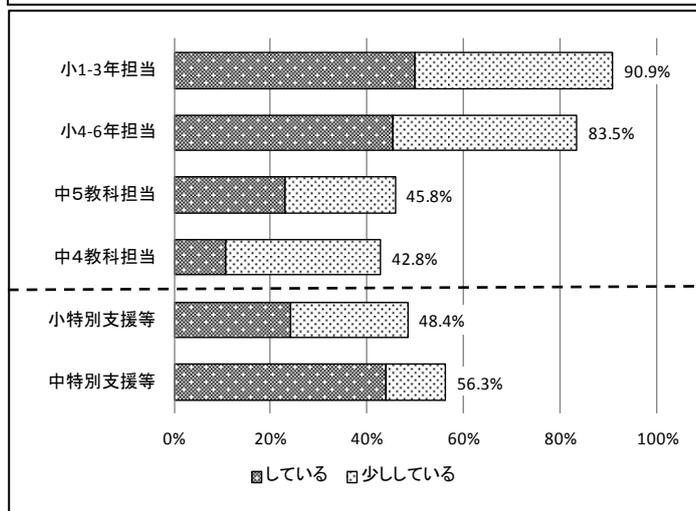
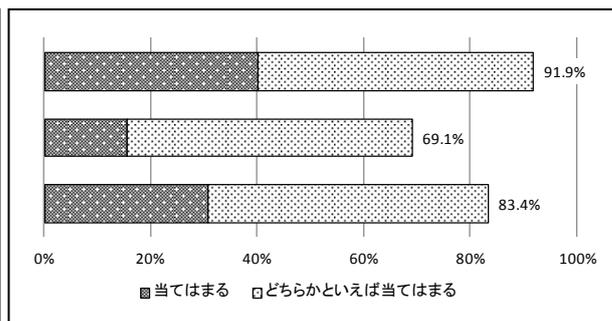
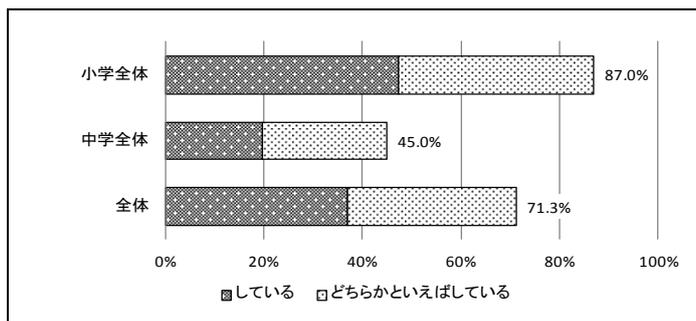
問1&問8 みんなで先生の説明を聞く学習。T1【講義形式の学習】&T8【講義形式の学習の好嫌】



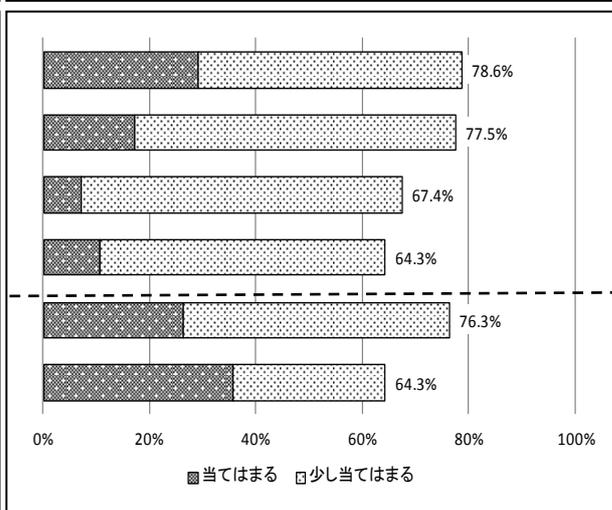
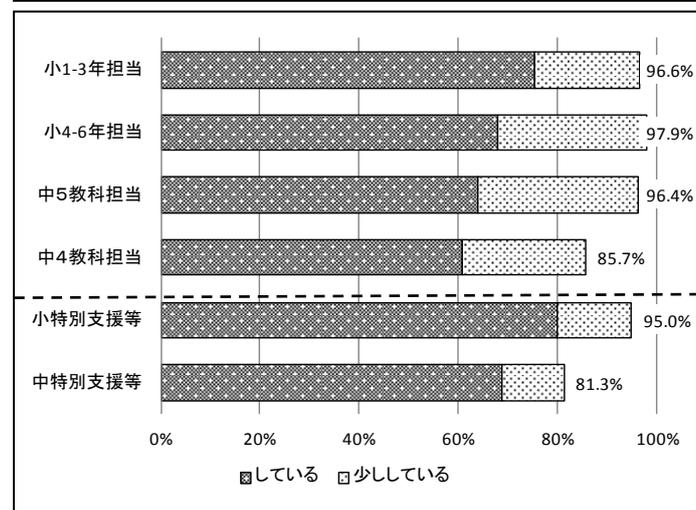
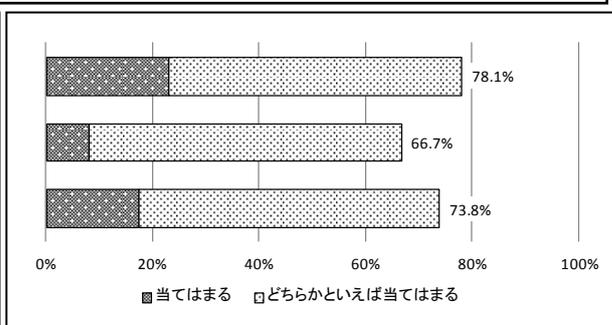
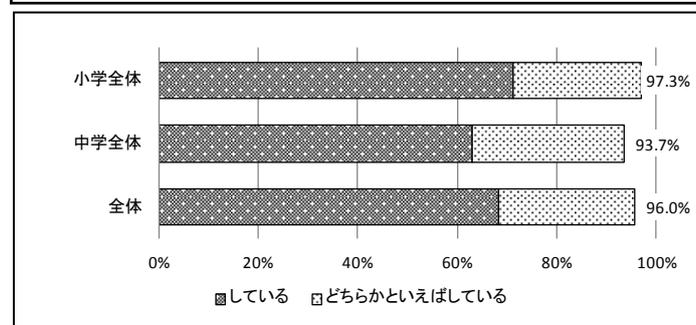
問2&問9 グループ学習。T2【グループ学習】&T9【グループ学習の好嫌】



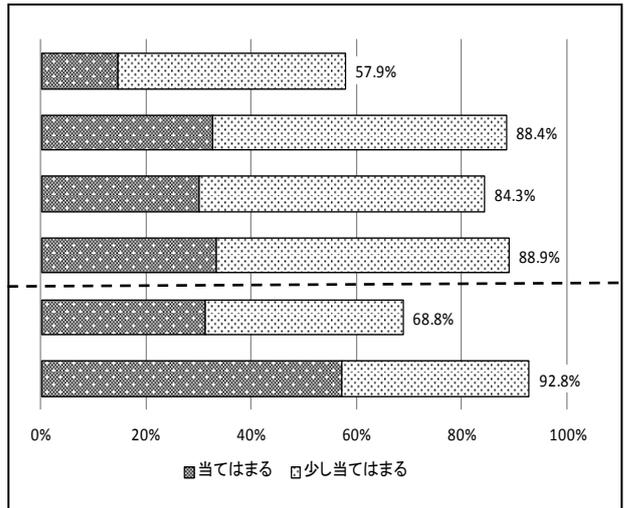
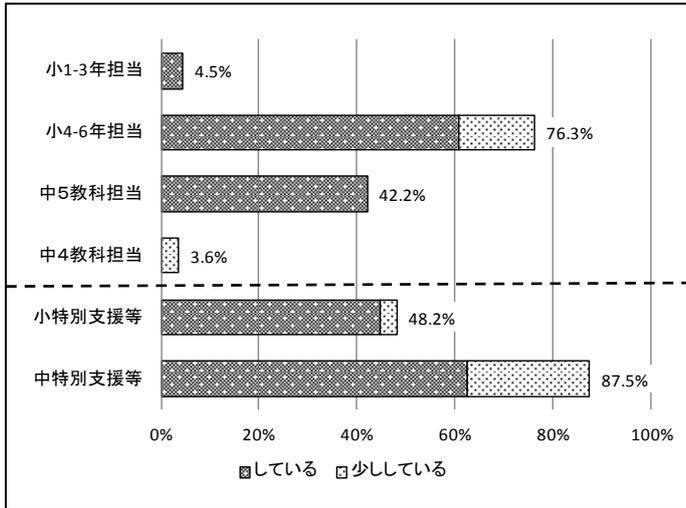
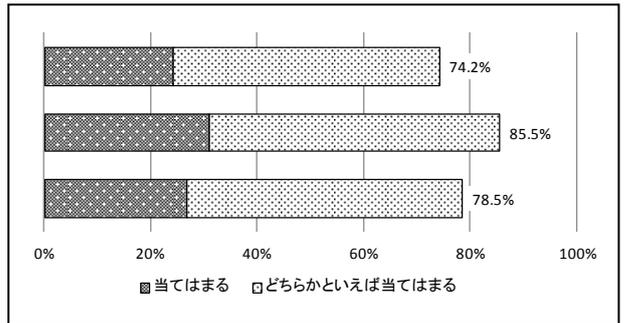
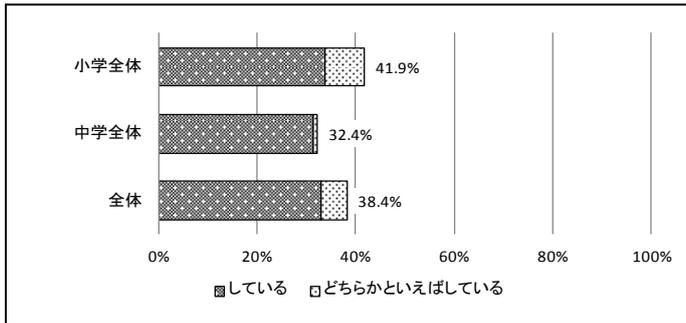
問3&問10 ペア学習。T3【ペア学習】&T10【ペア学習の好嫌】



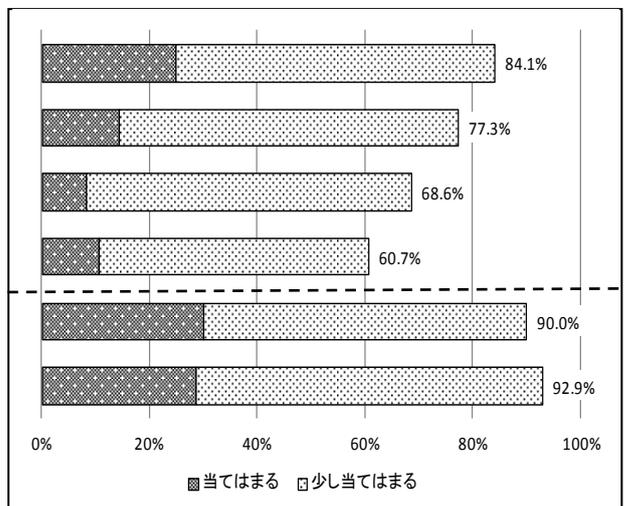
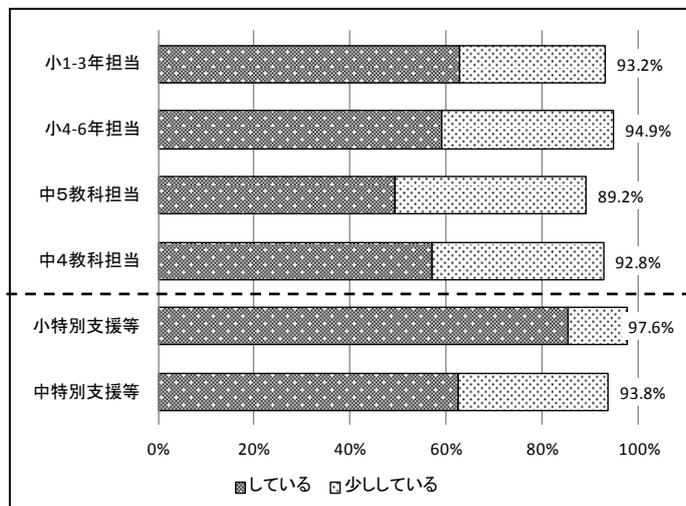
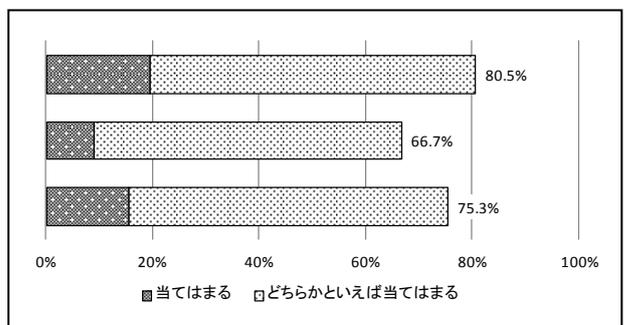
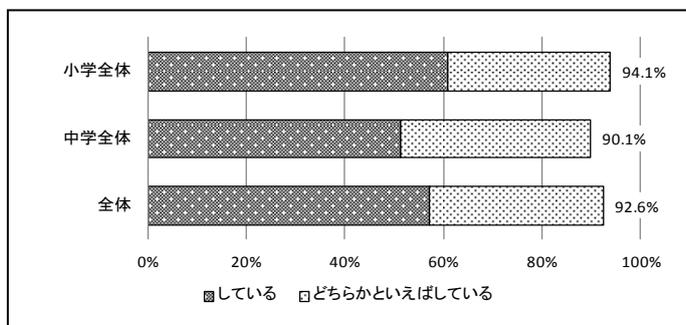
問4&問11 一人で考える学習。T4【自己思考学習】&T11【自己思考学習の好嫌】



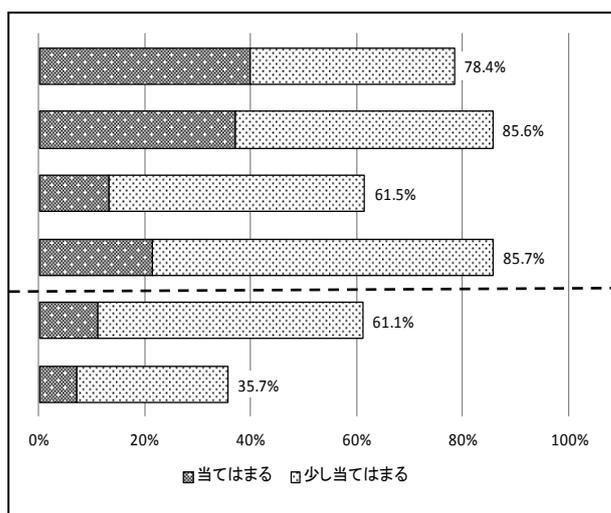
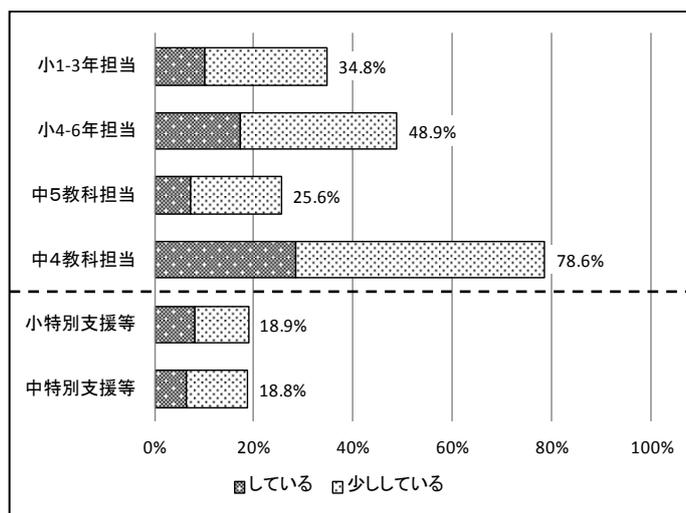
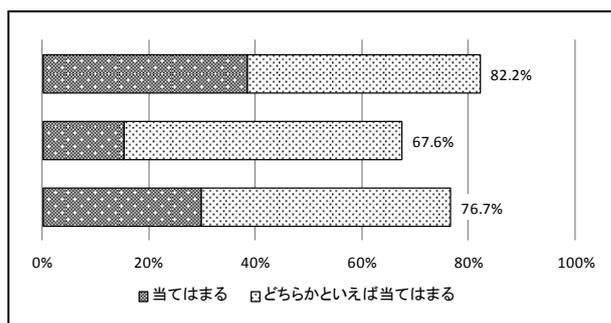
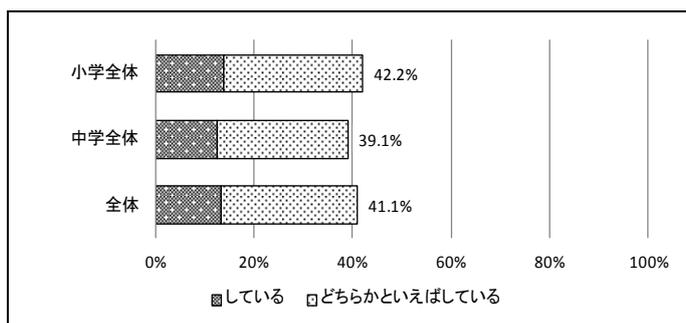
問 5 & 問 12 学級を2つ以上に分けて取り組む学習。 T5【少人数学習】& T12【少人数学習の好嫌】



問 6 & 問 13 先生が課題を立てて取り組む学習。 T6【教師設定課題学習】& T13【教師設定課題学習の好嫌】



問 7 & 問 14 自分たちで課題を立てて取り組む学習。T7【自己設定課題学習】& T14【自己設定課題学習の好嫌】



1【学習形態】と2【学習形態の好嫌】について

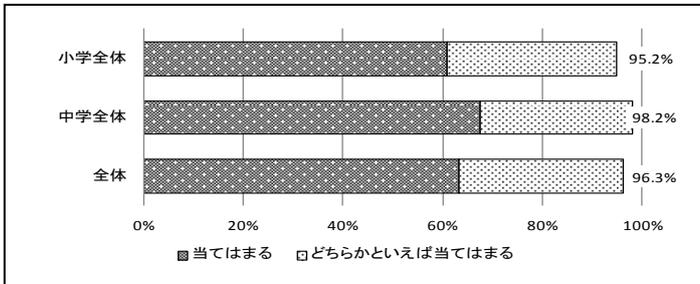
- ・問 1【講義形式の学習】と問 8【講義形式の学習の好悪】について、教員は、子どもが講義形式の授業を好意的に捉えていないと思いつつも、講義形式の授業の実施をしていると推測できる。
- ・問 2【グループ学習】と問 9【グループ学習の好嫌】について、教員は、子どもがグループ学習を好意的に捉えていると思っているが、中学校の教員の実施の割合は少ない。
- ・問 3【ペア学習】については、中学校の教員より小学校の教員の方が実施している。
- ・問 4【自己思考学習】については、小・中学校ともに学習活動で多く取り入れられている。
- ・問 7【自己設定課題学習】については、中学校の4教科担当教員が78.6%と最も多く、中学校の5教科担当の教員が25.6%で最も低い。
- ・問 7【自己設定課題学習】については、全体で41.1%が実施していて、問 14【自己設定学習の好嫌】については、76.7%の子どもが好意的であると思っている。教員は、子どもが自分たちで課題を立てて取り組む学習を好意的であると思っているが、あまり実施できていないと推測できる。

(2) 3 【指導状況の自己評価】

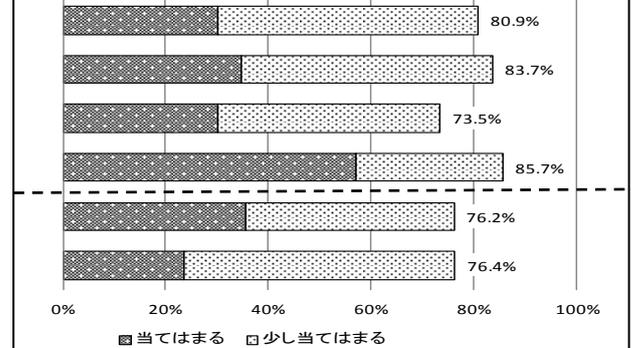
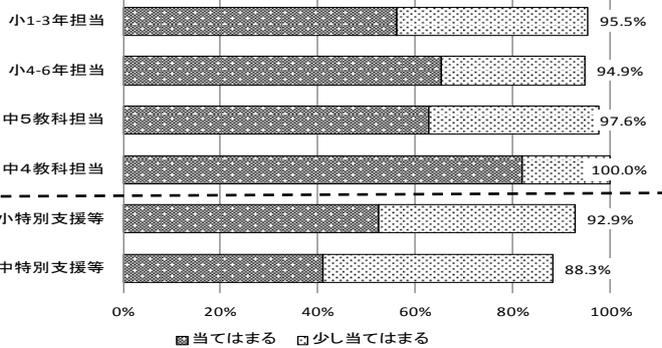
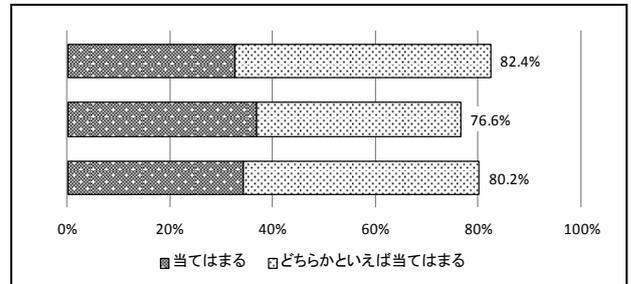
3あなたが今年度に行った授業について、当てはまるもの1つを選んでください。

設問3 【指導状況の自己評価】

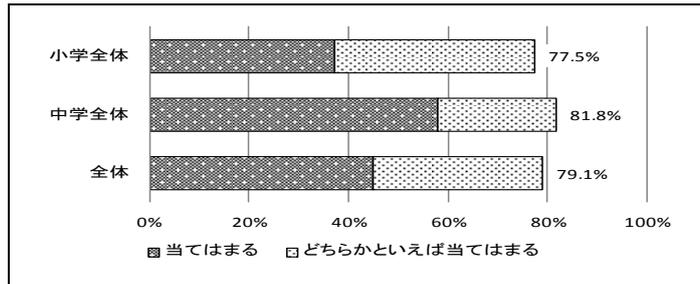
問15 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示していた。T15【目標の提示】



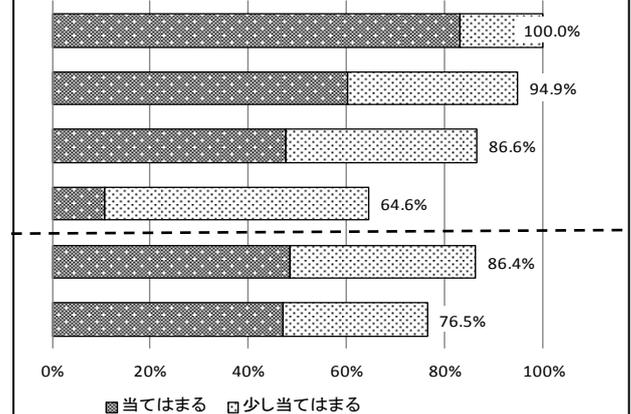
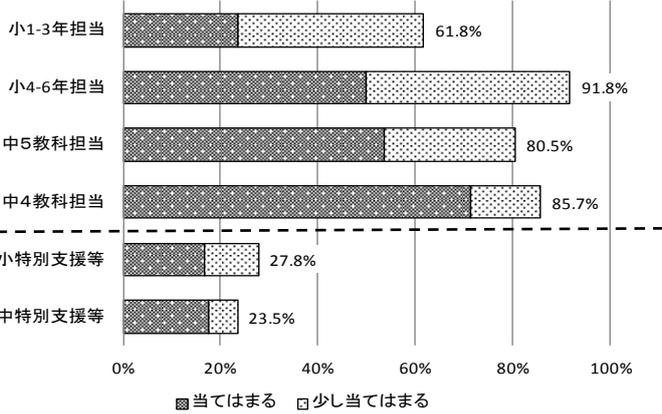
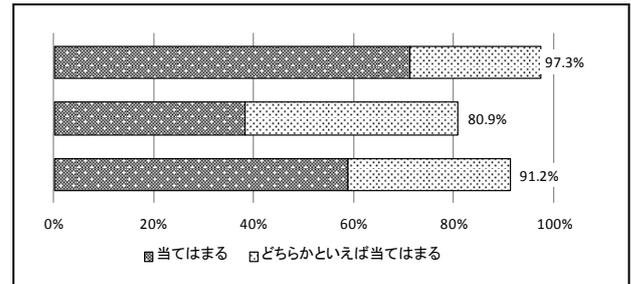
問16 授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている。T16【振り返り活動の実施】



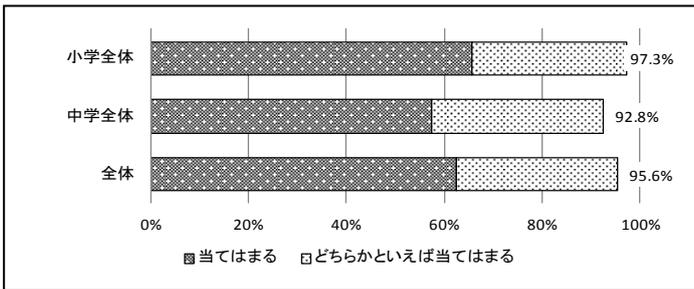
問17 授業では、学習目標(めあて・ねらい)や振り返り(まとめ等)をノートやプリントに書かせていた。T17【目標や振り返りの転写・記述】



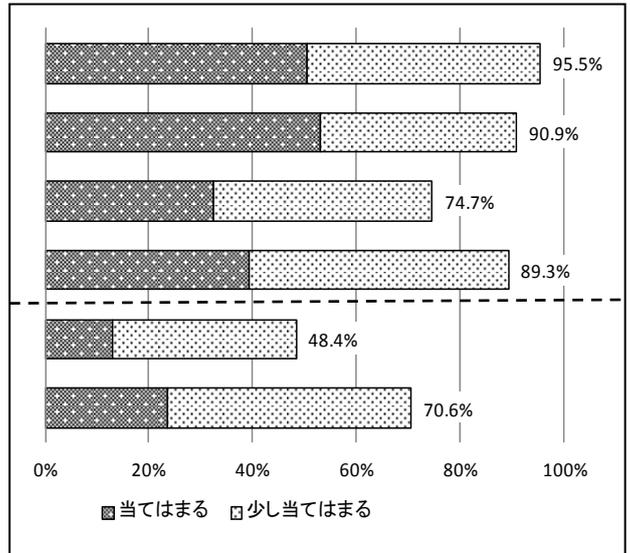
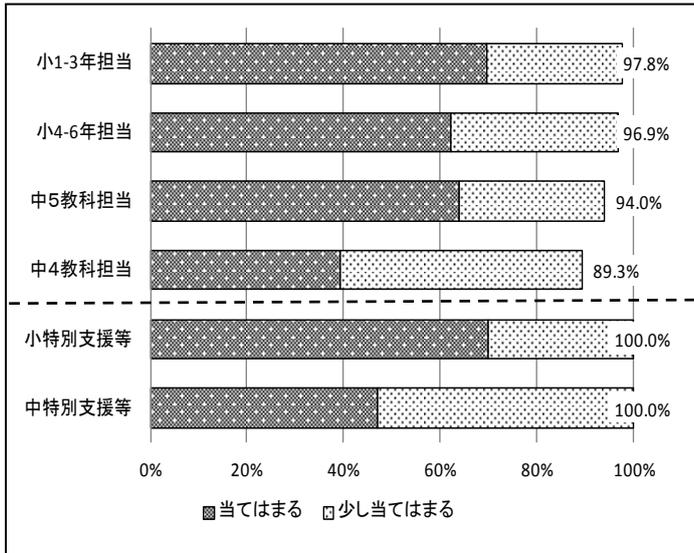
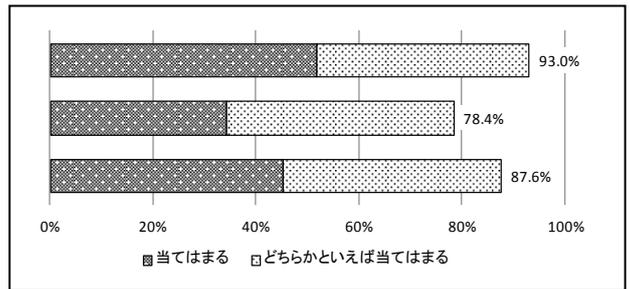
問18 授業では、自分の考えを発表する機会を与えていた。T18【発表機会の確保】



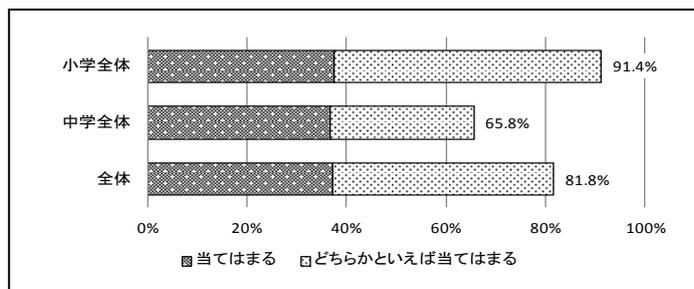
問 19 授業では、ひとりで考える時間を与えていた。
T19【思考時間の確保】



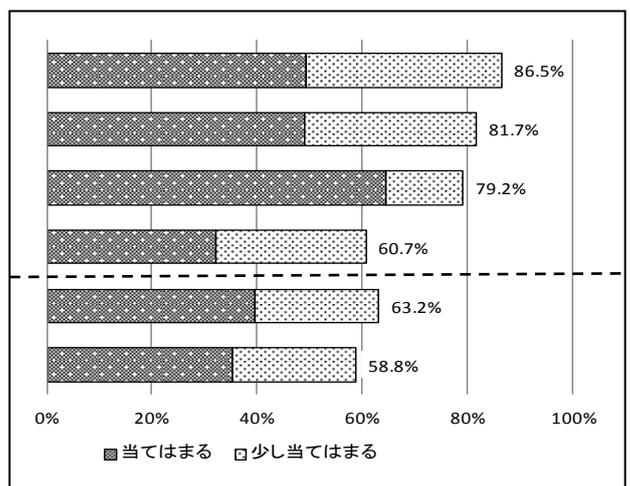
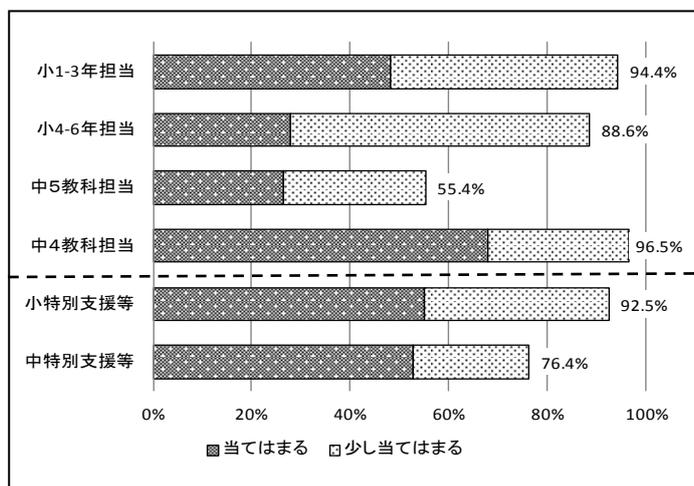
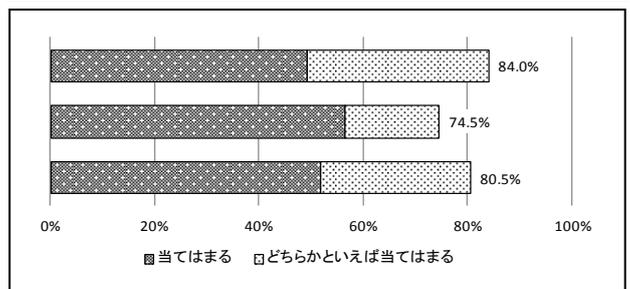
問 20 授業では、友だちと話し合う活動を行わせていた。T20【話し合い活動の実施】



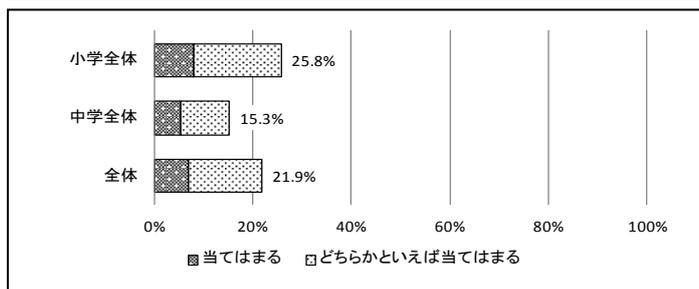
問 21 授業では、実験や観察、創作、実習などの作業や、体験をする場面を取り入れていた。
T21【作業・体験の実施】



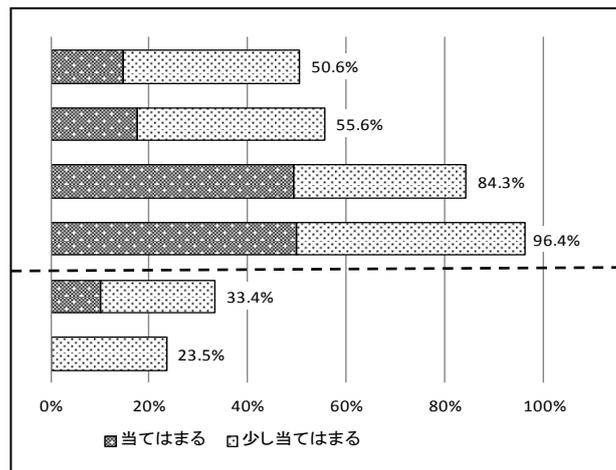
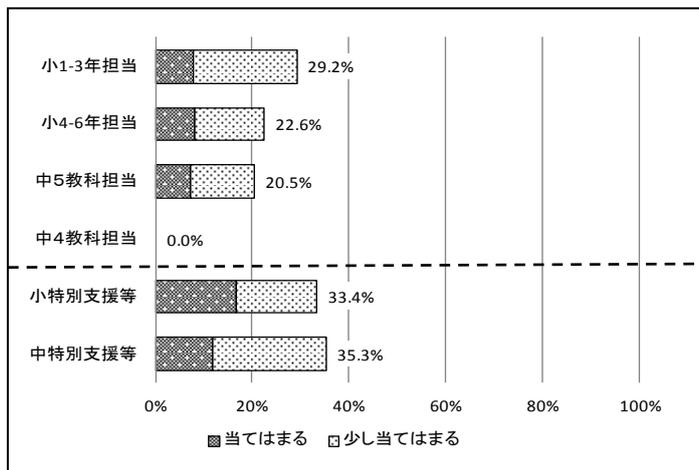
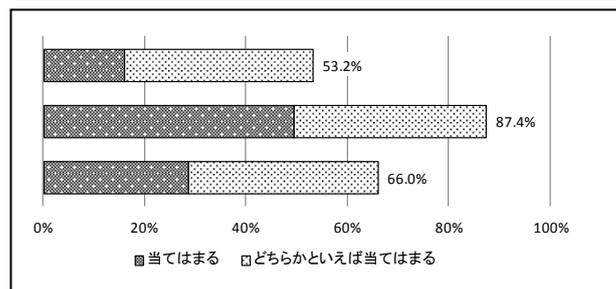
問 22 授業では、パソコンやプロジェクターなどの機器を活用して学習させていた。
T22【ICT 機器の活用】



問 23 授業では、ゲストティーチャー等を招くなど、先生以外の人の説明や体験などの話を聞かせる機会を設けていた。T23【外部人材の活用】



問 24 授業では、児童・生徒に対して、学習する前にどんなことを評価するのかを伝えていた。T24【評価内容の事前説明】



③【指導状況の自己評価】について

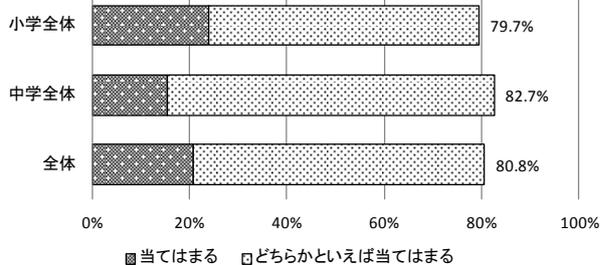
- ・問 15【目標の提示】については、全体で 96.3%と、小・中学校ともにほとんどの授業において授業のはじめに目標が提示されている。
- ・問 16【振り返り活動の実施】については、【目標の提示】と比較すると全体で 16.1P 低い。
- ・問 18【発表機会の確保】と問 20【話し合い活動の実施】において、校種間で比較すると、小学校の方が 10P 以上、実施している割合が高い。
- ・問 18【発表機会の確保】については、学年が上がるごとに、発表の機会が減少している。
- ・問 22【ICT 機器の活用】については、小学 1～6 年担当と中 5 教科担当において、実施している割合が高い。全普通教室に天吊り型プロジェクタが設置されているなど、ICT 機器が活用しやすい環境が整っているからと推測される。
- ・問 23【外部人材の活用】については、実施している割合が全体で 21.9%である。
- ・問 24【評価内容の事前説明】については、校種間で比較すると、実施している割合が中学校の方が 31.7P 高い。



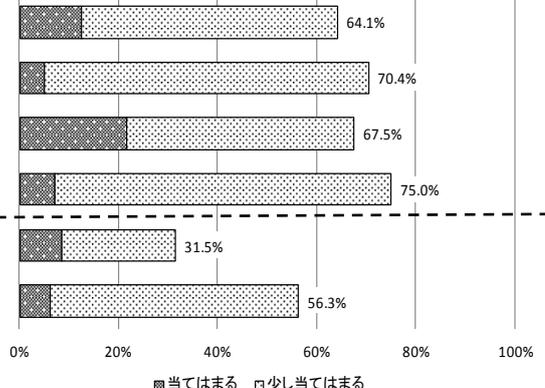
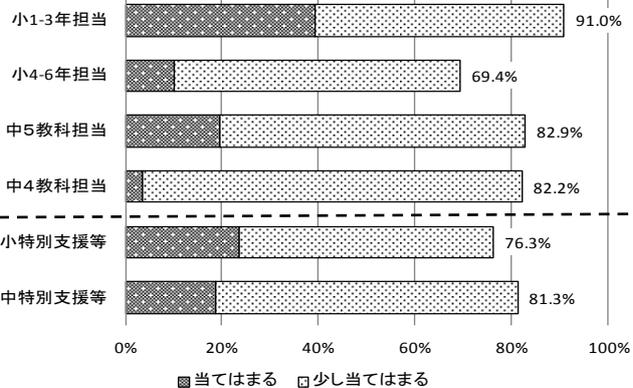
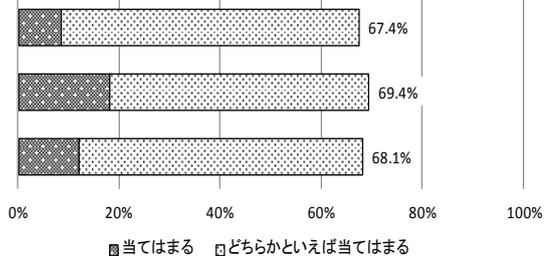
(3) 4 【児童・生徒の学習状況の評価】

4 次のことは、あなたが担当している児童・生徒の状況について、どれくらい当てはまりますか。当てはまるものを1つ選んでください。【児童・生徒の学習状況の評価】

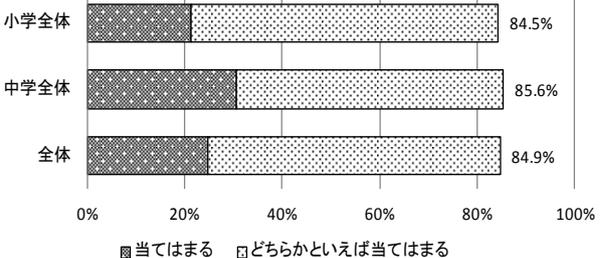
問 25 授業中、自分の考えや意見を発表することができる。T25【意見等の発表】



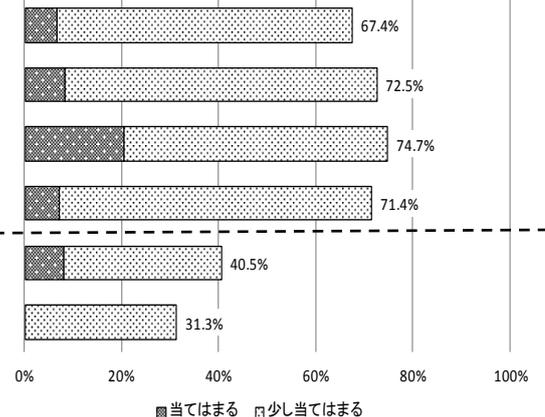
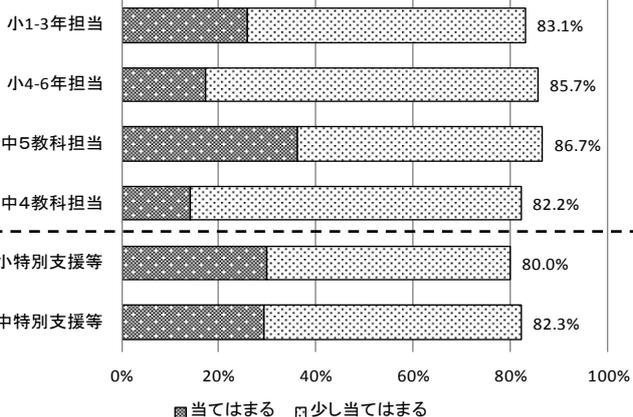
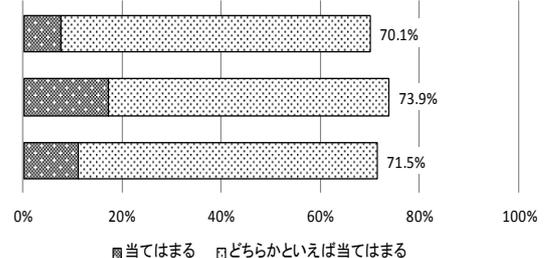
問 26 授業中、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる。T26【友達の話等への傾聴】



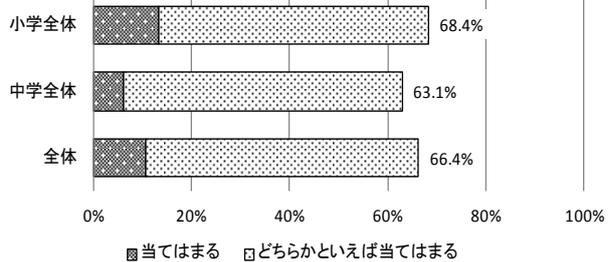
問 27 授業中、先生の話や意見を聞くことができる。T27【教師の話等への傾聴】



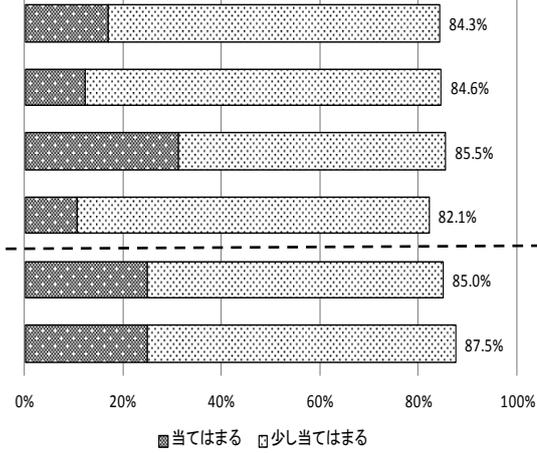
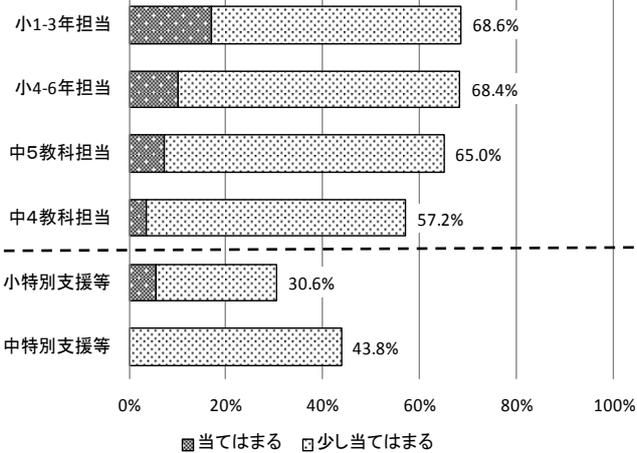
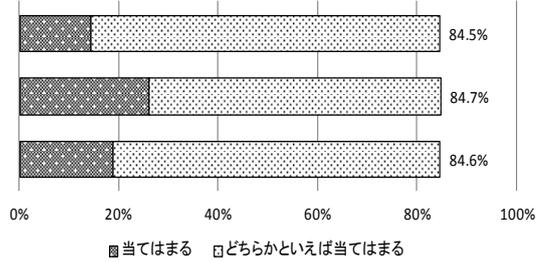
問 28 授業中、自分の考えを文章に書くことができる。T28【自分の考えの文章化】



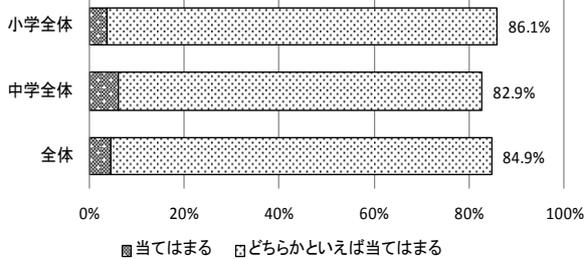
問 29 授業中、話し合う活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
T29【話し合いでの思考深化】



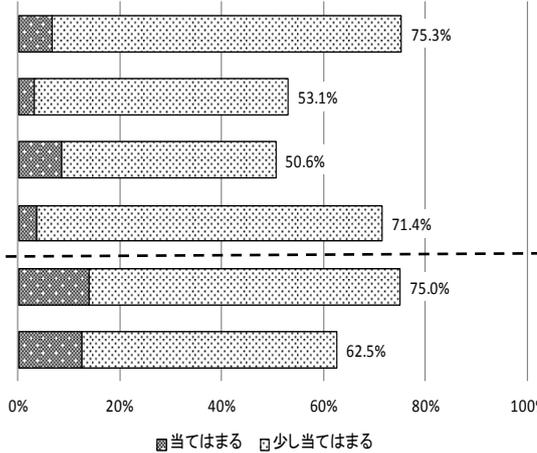
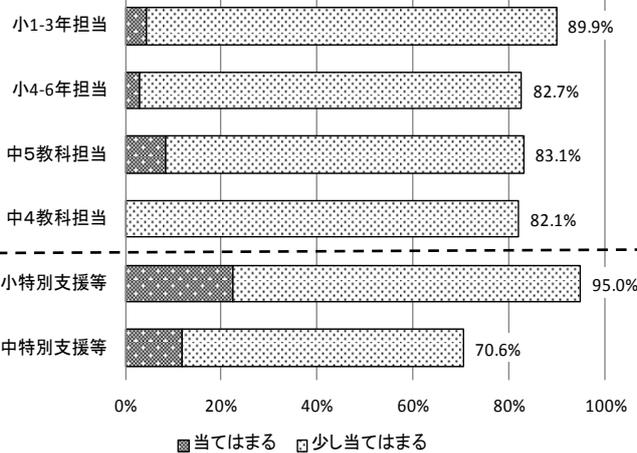
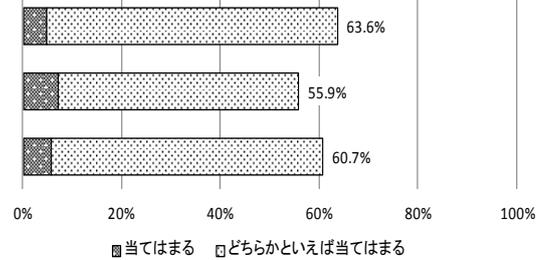
問 30 授業は、集中して取り組んでいる。
T30【授業への集中度】



問 31 授業内容は理解できている。
T31【授業内容の理解度】



問 32 勉強はできている方だと思う。
T32【学習全般の到達度】



4 【児童・生徒の学習状況の評価】について

- ・問 25【意見等の発表】について、小学校4～6年担当の教員は、他学年及び他校種と比較すると低く評価している。
- ・問 26【友だちの話等への傾聴】は全体で 68.1%、問 27【教師の話等の傾聴】は全体で 84.9%と、設問間で比較すると、教員の話はよく聞けているが、友だちの話はあまり聞けていないと評価している。
- ・問 28【自分の考えの文章化】については、校種間で有意な差がなく、全体で 71.3%の教員ができていると評価している。
- ・問 29【話し合いでの思考深化】については、校種間で有意な差がなく、全体で 66.4%の教員ができていると評価している。
- ・問 30【授業への集中度】については、校種間で有意な差がなく、全体で 84.6%の教員ができていると評価している。
- ・問 31【授業内容の理解度】は全体で 84.9%、問 32【学習全般の到達度】は全体で 60.7%と、設問間で比較すると、授業の内容はよく理解しているが、学習が習得できたとは評価していないと感じている。

コラム

主体的・対話的で深い学びの実現とは？



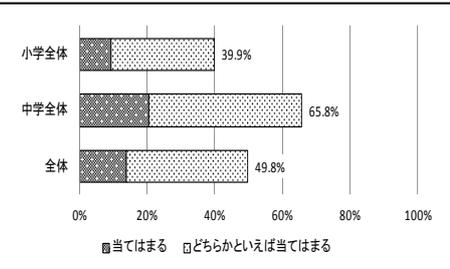
図4 文部科学省 HP より

(4) 5 【学校外の取り組みの指導】

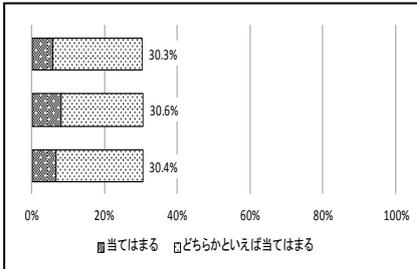
5 児童・生徒の家での生活・学習について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

設問5 【学校外の取り組みの指導】

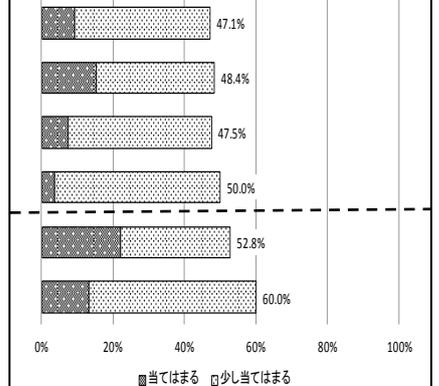
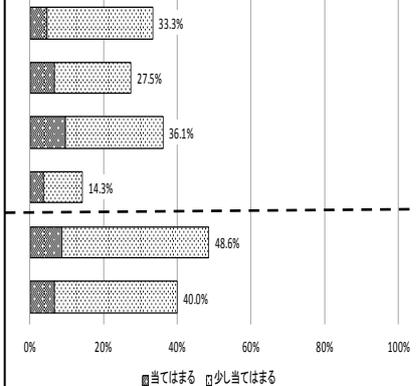
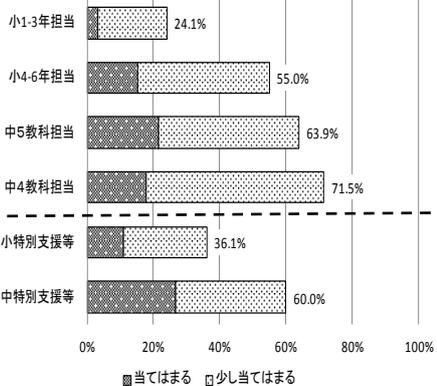
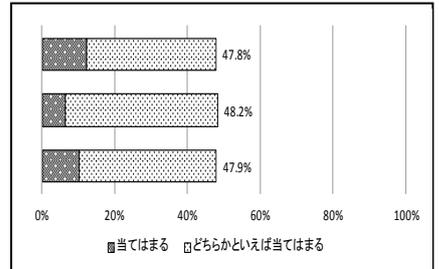
問 33 携帯電話やスマートフォン、パソコンで通話やメール、インターネットの利用時間等について、児童・生徒に指導している。
T33【携帯等の指導】



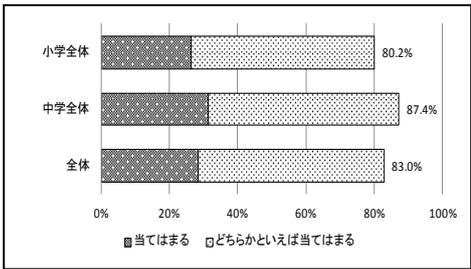
問 34 テレビやビデオ・DVDの視聴の利用時間等について、児童・生徒に指導している。
T34【TV等の視聴の指導】



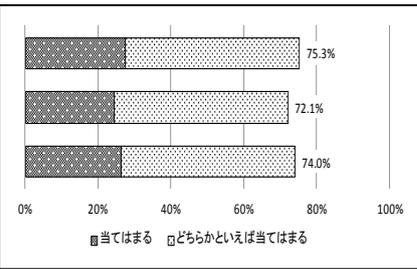
問 35 テレビゲームの利用時間等について、児童・生徒に指導している。
T35【TVゲームの利用の指導】



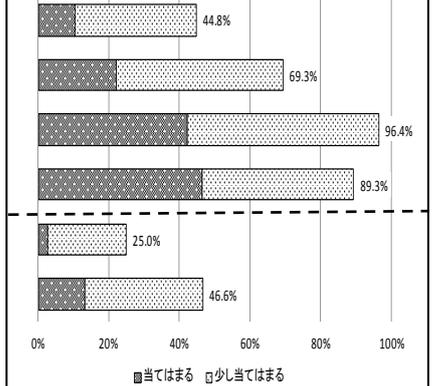
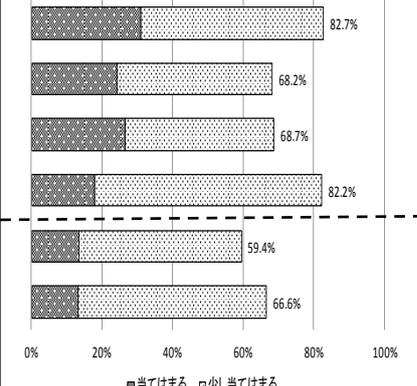
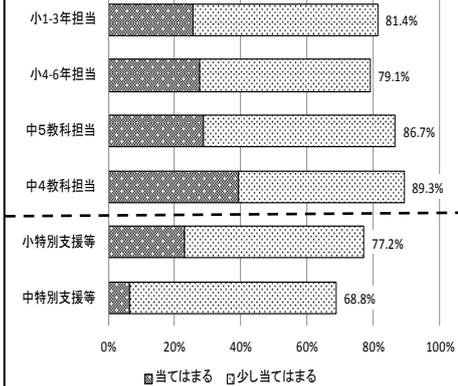
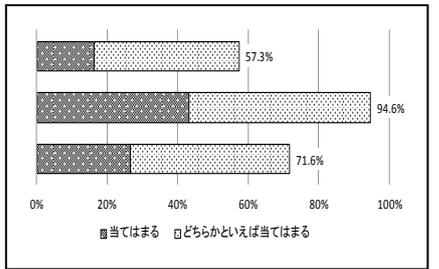
問 36 家庭での学習について(学習時間等)、児童・生徒に指導している。
T36【家庭学習の指導】



問 37 読書について、児童・生徒に指導している。
T37【読書についての指導】

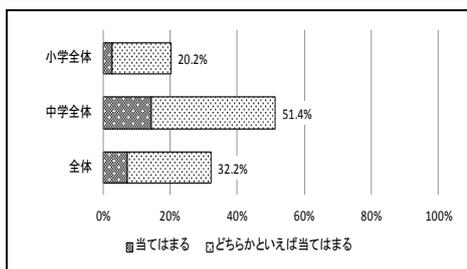


問 38 自分で計画を立てて、勉強するように指導している。
T38【計画的な学習についての指導】



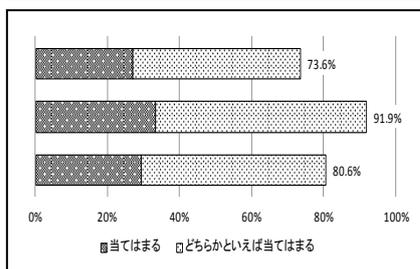
問 39 学校の授業の予習をするように指導している。

T39【授業の予習についての指導】



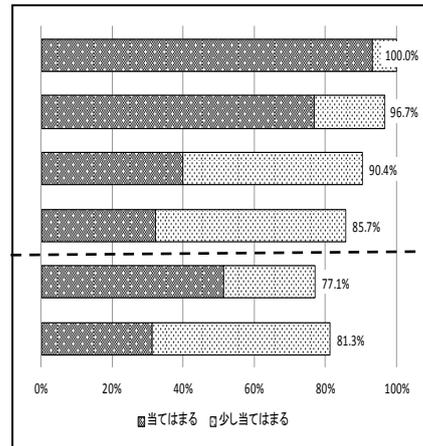
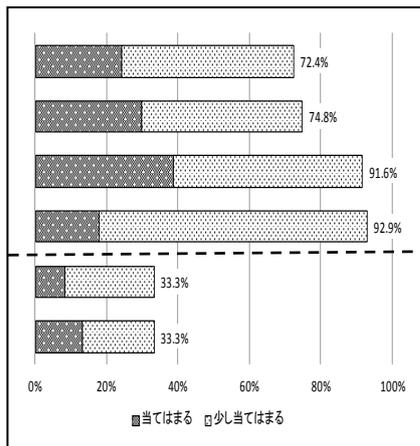
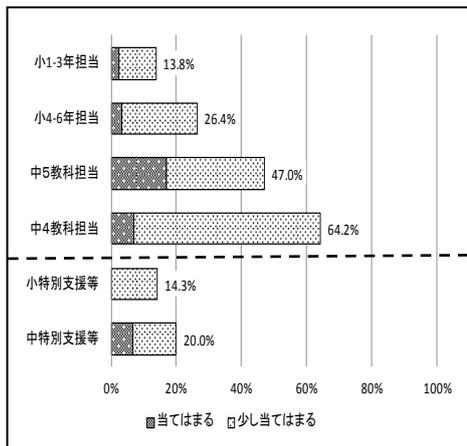
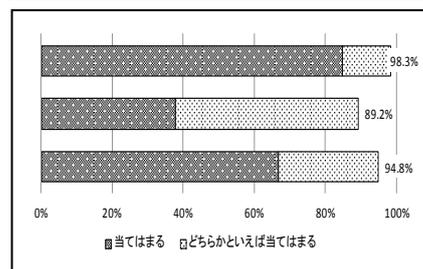
問 40 学校の授業の復習をするように指導している。

T40【授業の復習についての指導】



問 41 学校で出された宿題(課題)を必ずするように指導している。

T41【宿題についての指導】



5 【学校外での取り組みの指導】について

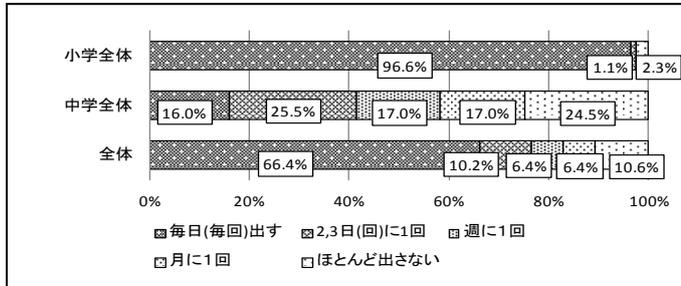
- ・問 33【携帯等の指導（スマートフォン、パソコンで通話やメール、インターネット）】については、小学1～3年担当<小学4～6年担当<中学校と学年が進むにつれ指導している割合が多くなり、中学校では65.8%が指導している。
- ・問 34【TV等の視聴の指導】は全体で30.4%、問 35【TVゲームの利用の指導】は全体で47.9%と、設問間で比較するとテレビよりゲームについて指導している割合が高く、校種間の比較では、ともに有意な差はない。
- ・問 36【家庭学習の指導】については、校種間で有意な差はなく、全体で83.0%の教員が指導している。
- ・問 37【読書についての指導】については、校種間で有意な差はなく、全体で74.0%の教員が指導している。
- ・問 38【計画的な学習についての指導】について、小学校で57.3%、中学校で94.6%、校種間で比較すると中学校の方が37.3P高く、中学校ではほとんどの教員が指導しているといえる。
- ・問 39【授業の予習についての指導】について、小学校で20.2%、中学校で51.4%、校種間で比較すると中学校の方が31.2P高い。
- ・問 40【授業の復習についての指導】について、小学校で73.6%、中学校で91.9%、校種間で比較すると中学校の方が18.3P高い。
- ・問 39【授業の予習についての指導】と問 40【授業の復習についての指導】を設問間で比較すると、小・中学校ともに復習への指導が多くされている。
- ・問 41【宿題についての指導】について、小学校で98.3%、中学校で89.2%と小・中学校ともに多くの教員が宿題について指導している。

(5) 6 【宿題の取組みについて】

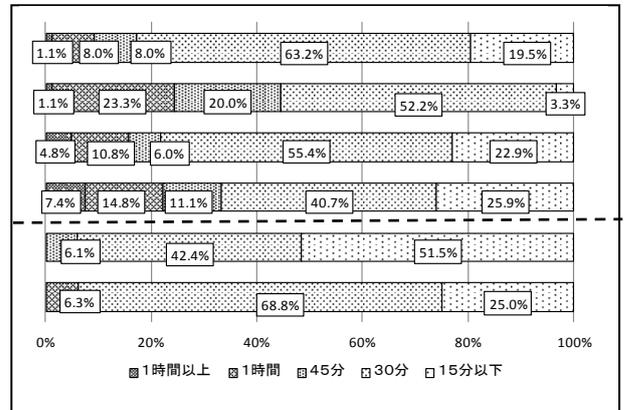
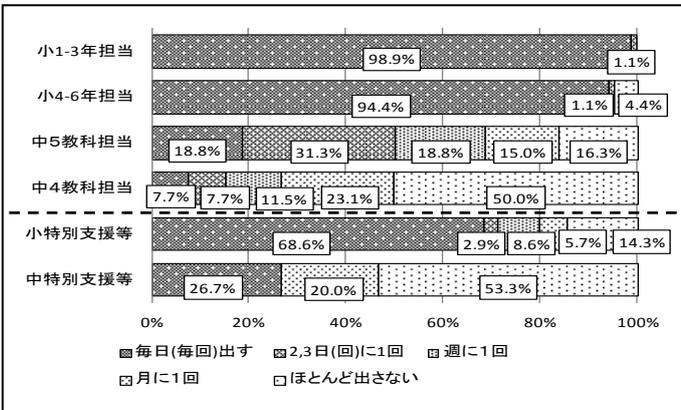
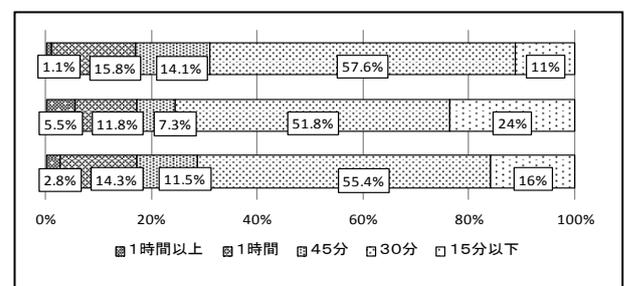
6 宿題の取組みについて、あてはまるものを選んで○をつけてください。【宿題の取組みについて】

問 42・43 宿題を出す頻度について、あてはまるものを選んで○をつけてください。

T42・43【宿題の頻度(小・中)】

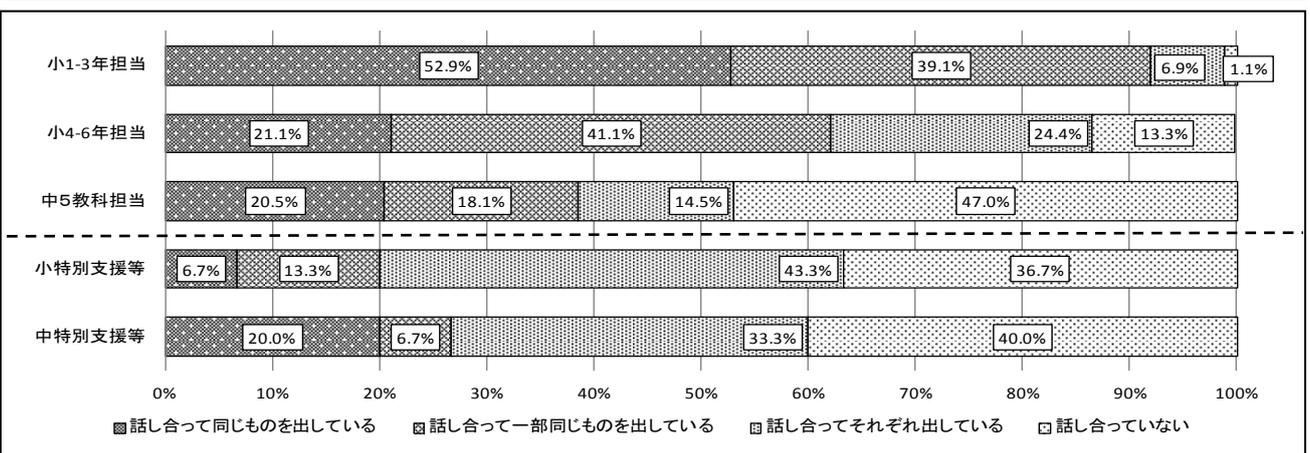
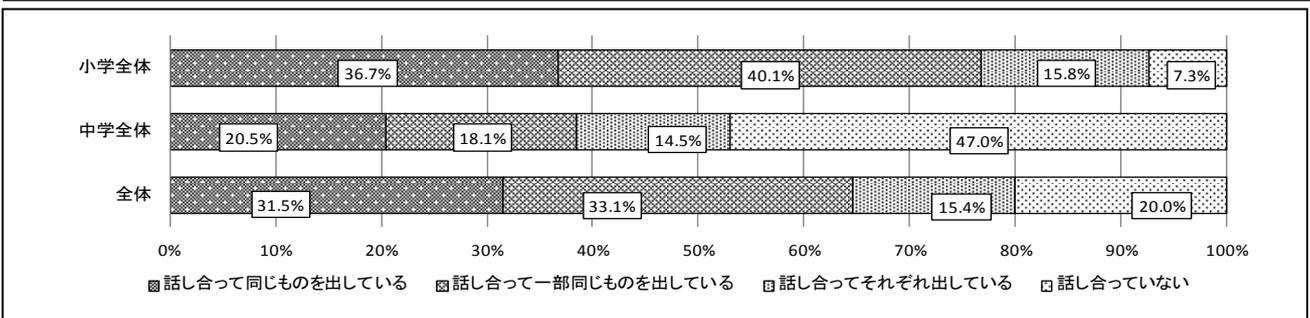


問 44 1日(1回)当たりの宿題の量について、どの程度を想定していますか。当てはまるものを選んで○をつけてください。 T44【宿題の分量】



問 45 宿題(出す頻度、量、内容等)に関する、学年(教科)での取組みについて、当てはまるものに○をつけてください。 T45【宿題に関する取決め】

※中学校の実技4教科は、教科担当が1人の場合もあるので、グラフから除外した。



6 【宿題の取組みについて】について

- ・問 42・43 【宿題の頻度（小・中）】については、教育課程の特性上、校種間で直接的に比較はできないが、小学校は96.6%が毎日出しているのに対し、中学校では毎日（毎回）出すことは小学校と比べると少ない。
- ・問 44 【宿題の量】については、校種間で有意な差はなく、小・中学校ともに30分程度を想定して出していると考えられる。
- ・問 45 【宿題に関する取り決め】については、校種間で比較すると小学校で宿題について多く話し合われている。

コラム

平日の学習時間は全体的に増加。

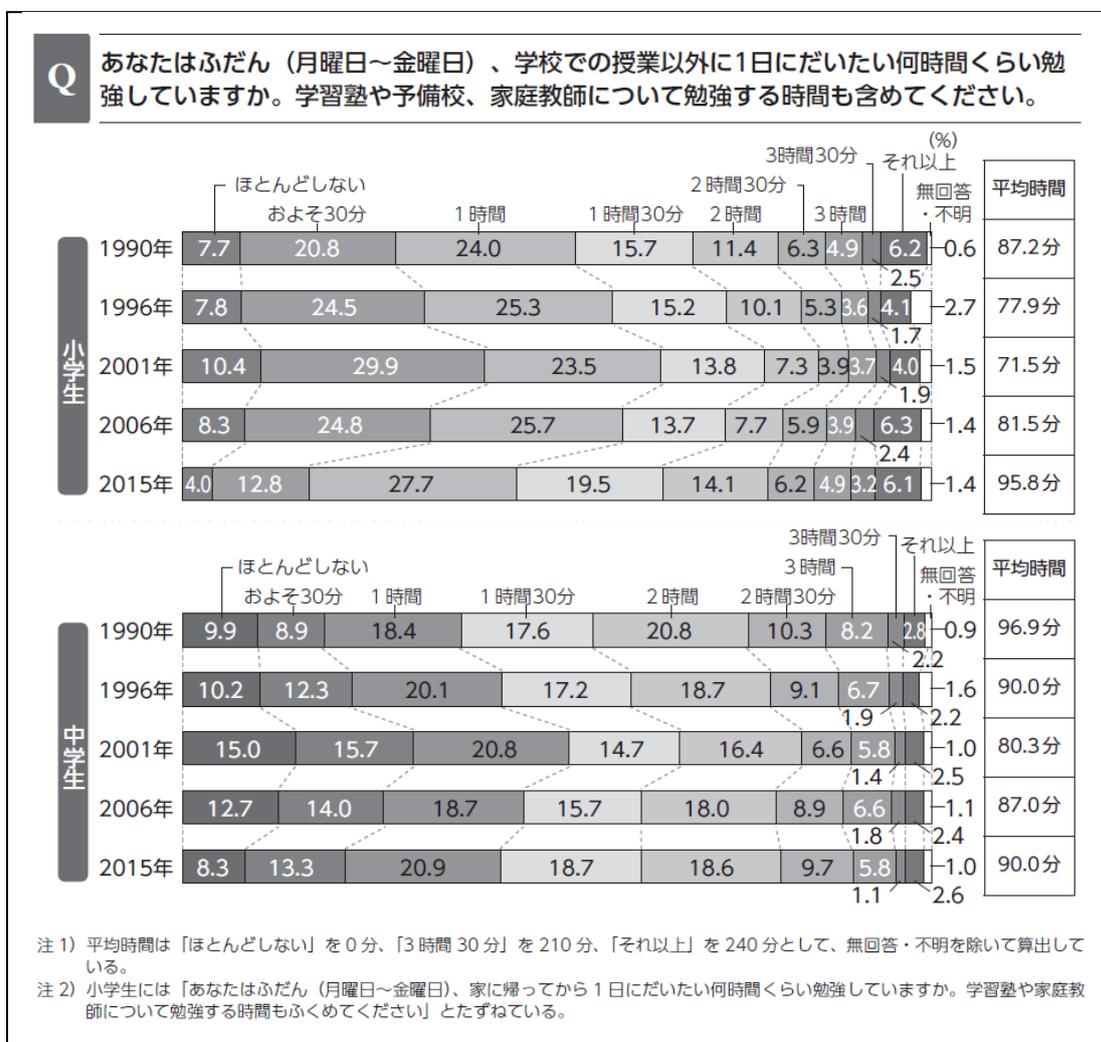


図5 平日の学校外の学習時間（小学生・中学生、経年比較）

ベネッセ教育総合研究所 第5回学習基本調査・国内調査報告書 小学生版 2015年より

ベネッセ教育総合研究所「第5回学習基本調査（2015）」によると、平日、休日の学習時間ともに増加し、学習を「ほとんどしない」がこれまでで最小の比率となったと報告しています。

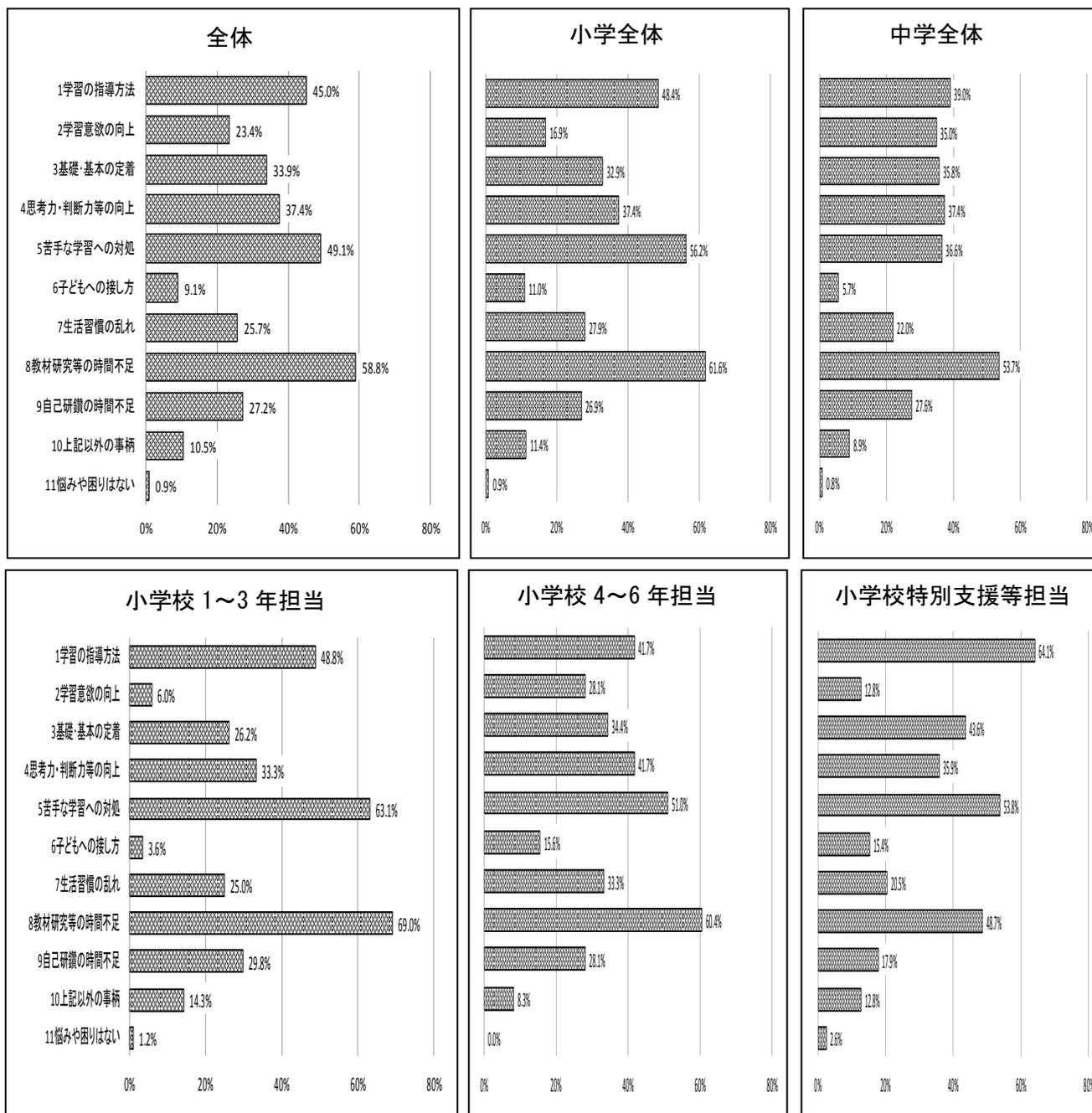
(6) 7 【学習指導上の悩み】

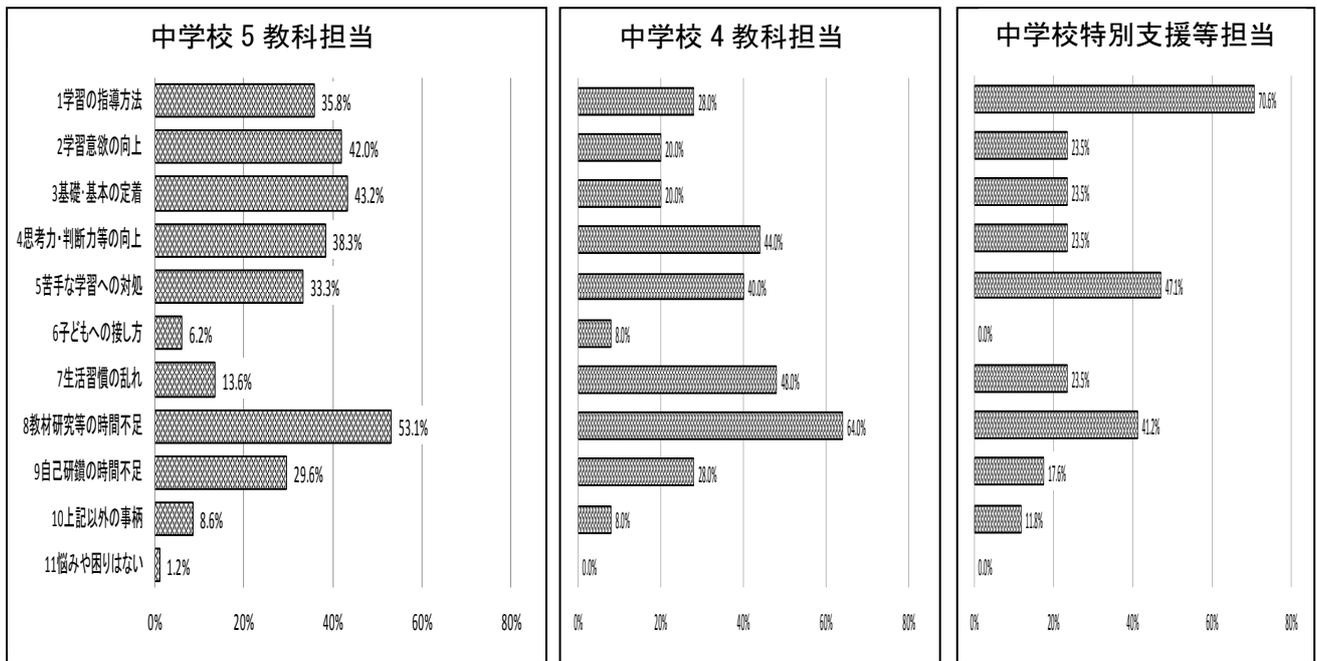
7 次の質問で、当てはまるものに○をつけてください。(4 つまで選択可能です)

設問 7 【学習指導上の悩み】

問 46 あなたが学習指導で主に悩んだり、困ったりしていることはありますか。 T46【学習指導上の悩み】

- ① 児童・生徒に合った学習の指導方法。【学習の指導方法】
- ② 児童・生徒の学習意欲が高まらない。【学習意欲の高揚】
- ③ 児童・生徒の基礎的・基本的な知識・技能が定着しない。【基礎・基本の定着】
- ④ 児童・生徒の思考力・判断力・表現力が育まれない。【思考力・判断力等の向上】
- ⑤ 児童・生徒の苦手な学習への取り組みせ方。【苦手な学習への対処】
- ⑥ 児童・生徒との関わり方。【子どもへの接し方】
- ⑦ 児童・生徒の生活習慣(忘れ物、課題の提出、学習態度)が身につかない。【生活習慣の乱れ】
- ⑧ 教材研究をするための時間の確保。【教材研究等の時間不足】
- ⑨ 自己研鑽のために研修する時間の確保。【自己研鑽の時間不足】
- ⑩ その他の悩みや困り。【上記以外の事柄】
- ⑪ 悩みや困りはない。【悩みや困りはない】





7 【学習指導上の悩み】について

・問 46 【学習指導上の悩み】について、全体、小学全体、中学全体で値が大きい順に並べると、以下のとおりになる。

全体		小学全体		中学全体	
順位	指導上の悩み	順位	指導上の悩み	順位	指導上の悩み
1	教材研究等の時間不足	1	教材研究等の時間不足	1	教材研究等の時間不足
2	苦手な学習への対処	2	苦手な学習への対処	2	学習の指導方法
3	学習の指導方法	3	学習の指導方法	3	思考力・判断力等の向上
4	思考力・判断力等の向上	4	思考力・判断力等の向上	4	学習の指導方法
5	基礎・基本の定着	5	基礎・基本の定着	5	基礎・基本の定着

・1位は小・中学校ともに「教材研究等の時間不足」である。
 ・学習指導上の悩みについて、校種間で比較しても有意差は見られず、概ね一致している。

・図 6 「[学習指導上の悩み] (T46)」は、指導経験年数別に並べたとき有意差があったものをグラフに表したものである。「③基礎的・基本的な知識・技能が定着しない」は、経験年数が多いほど増加しているが、「⑤苦手な学習への取り組みせ方」「⑥児童・生徒へのかかわり方」は少なくなる傾向がある。

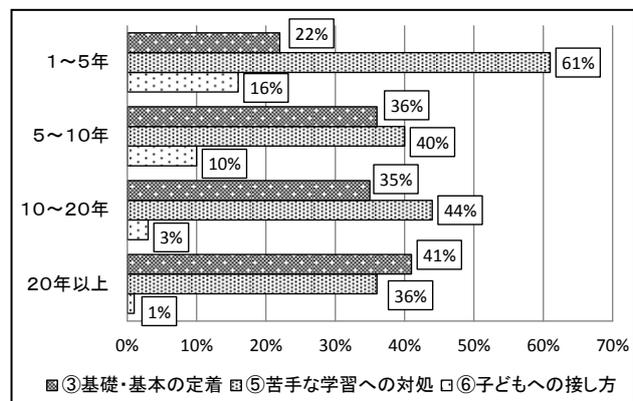


図 6 「[学習指導上の悩み]授あなたが学習指導で主に悩んだり、困ったりしていることはありますか (T46)」

・悩みや困り感は、人それぞれにあると考えられるが、世代を超えて悩みや困り感を互いに共有したり、切磋琢磨し合ったりすることによって、悩みや困り感を減らすことにつながれるともとらえられる。